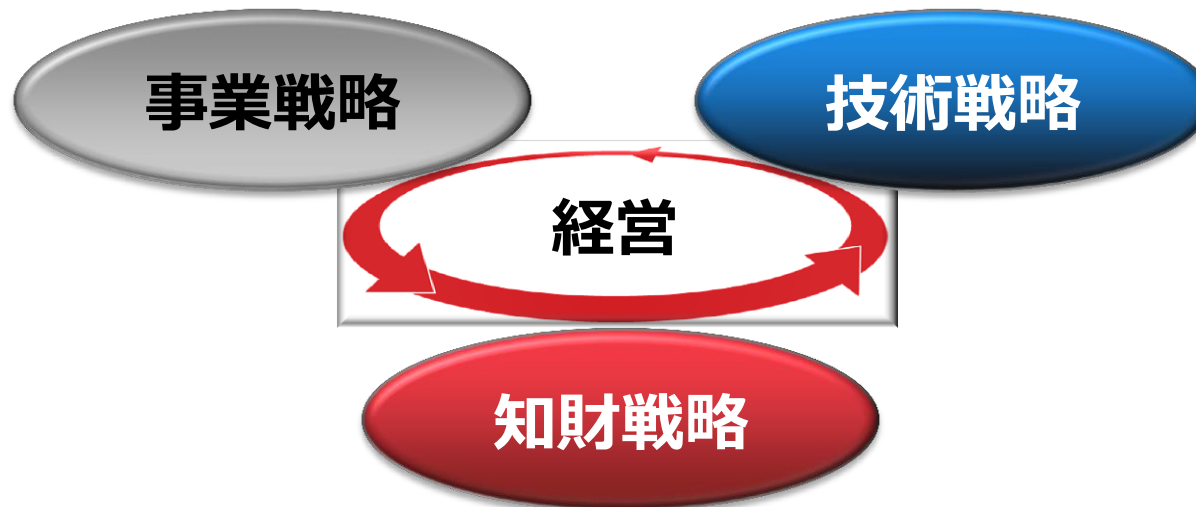


知的財産活動のご紹介

2015年12月7日
富士通株式会社

富士通グループの知的財産戦略

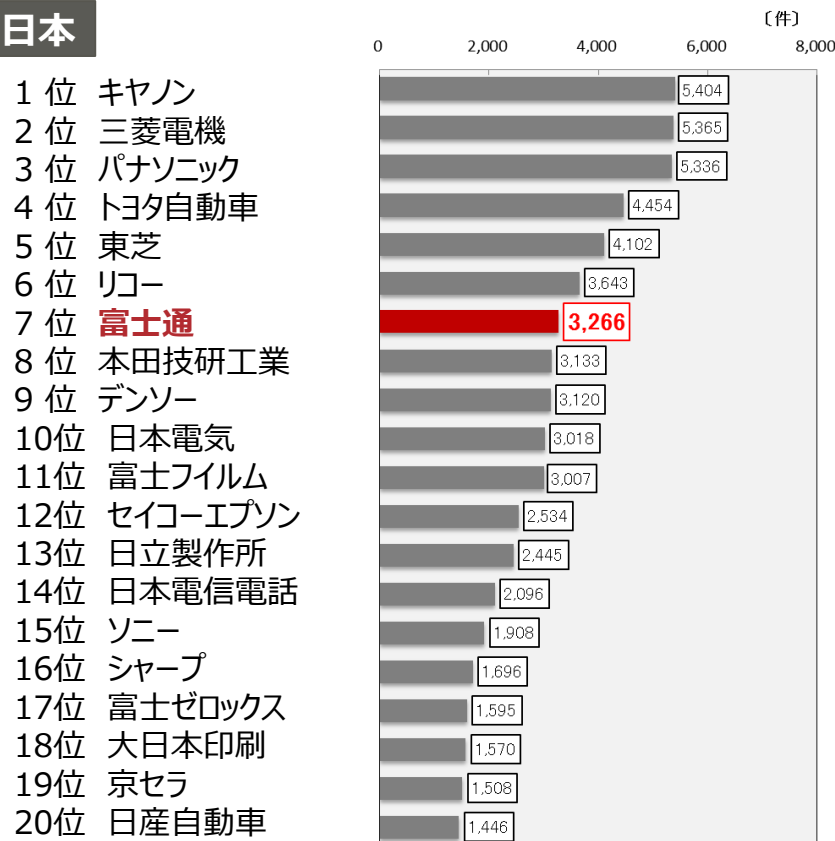


【知財の意味】

- (1) テクノロジー企業としてのプレゼンスの証明
- (2) 具体的なビジネスに価値を提供

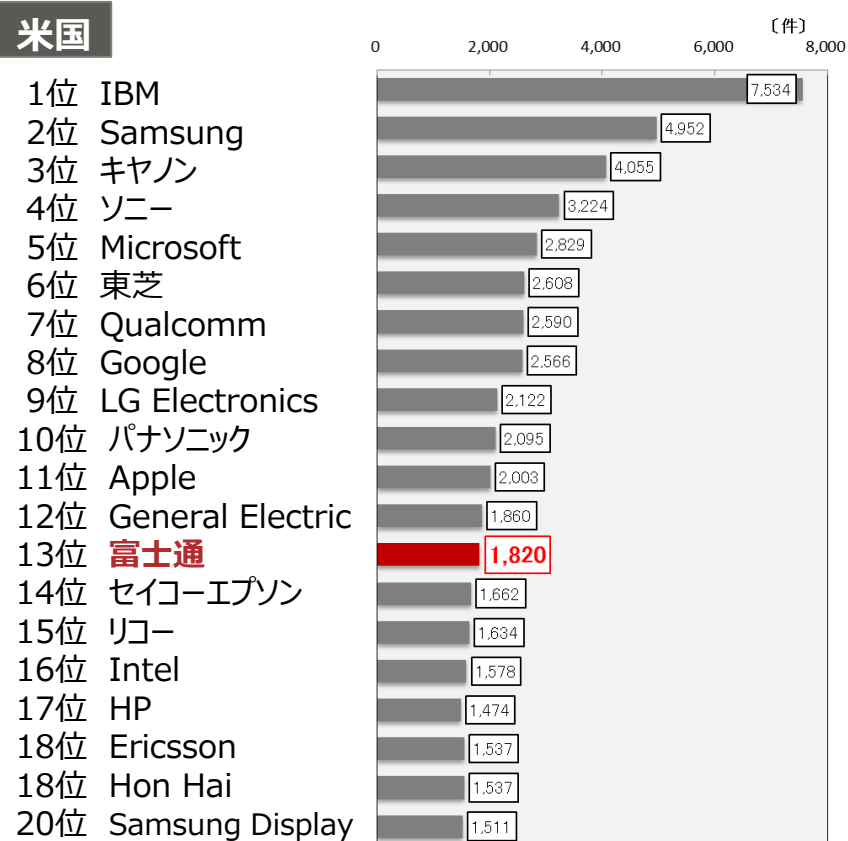
特許登録件数ランキング（2014年）

日本



特許公報発行日 全出願人カント（各社グループ会社含まず）
特許庁公開データによる自社調査

米国



特許公報発行日 全出願人カント
出典: I F I CLAIMS Patent Services社データ

■ 2014年欧州特許出願のTOP50にランキング

■ THOMSON REUTERSによる“Top100 グローバル・イノベーターアワード”4年連続受賞

I. ビジネス、研究開発等を通じて創出されたアイデアを知的財産権として権利化

- 他社とのクロスライセンスで事業の自由度を確保
- 他社との差異化による競争優位性を確保

II. 更なる事業貢献に向け、全社横断での活用視野を広げた新たな知財戦略を策定・展開

- 知財オープン化による**市場創出**
- 共創による**イノベーション促進**
- **エコシステム**づくり

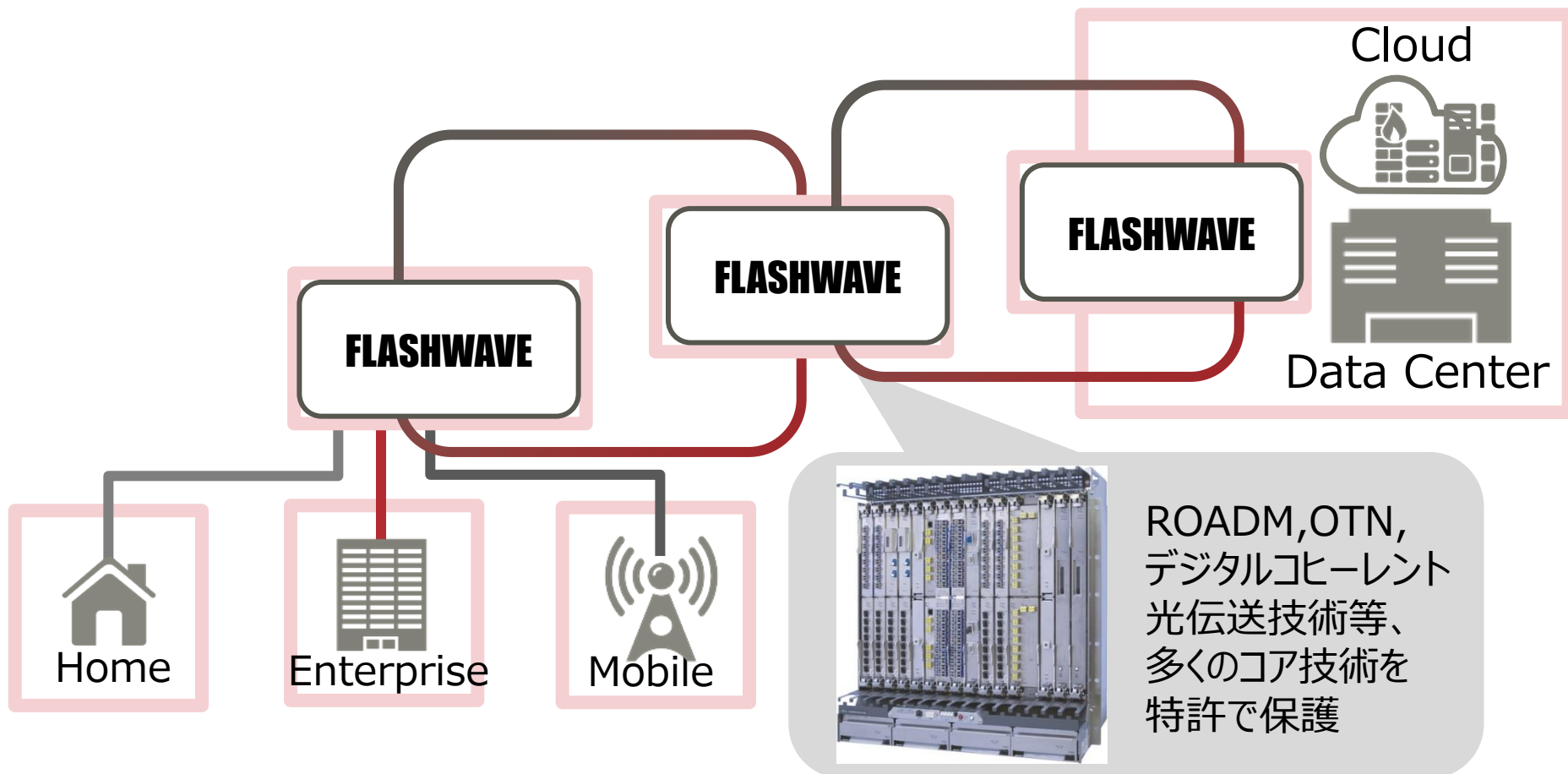
知財の活用



【事例 1】 光伝送装置(事業を守る知財の確保)

FLASHWAVEによる高速光伝送システム

- 高速光伝送を実現するコア技術の特許で保護し、通信事業者向け装置に適用
- 特許で守られた安全な装置により、通信事業者の事業の安定・維持に貢献



【事例2】 生体認証(市場創出)

手のひら静脈認証

標準化

目的

市場の拡大・公共利用
(政府調達) に対応

取組み

国際標準化活動
既存方式の顔・指紋・虹彩の国
際標準規格がある中に、静脈に
関するパートや仕様を追加



顔



指紋



虹彩



静脈



コア技術

目的

付加価値ある製品提供
高い認証機能を持つアルゴ
リズム、センサー技術等は
差異化

製品適用



A T M
銀行窓口



入退室
管理

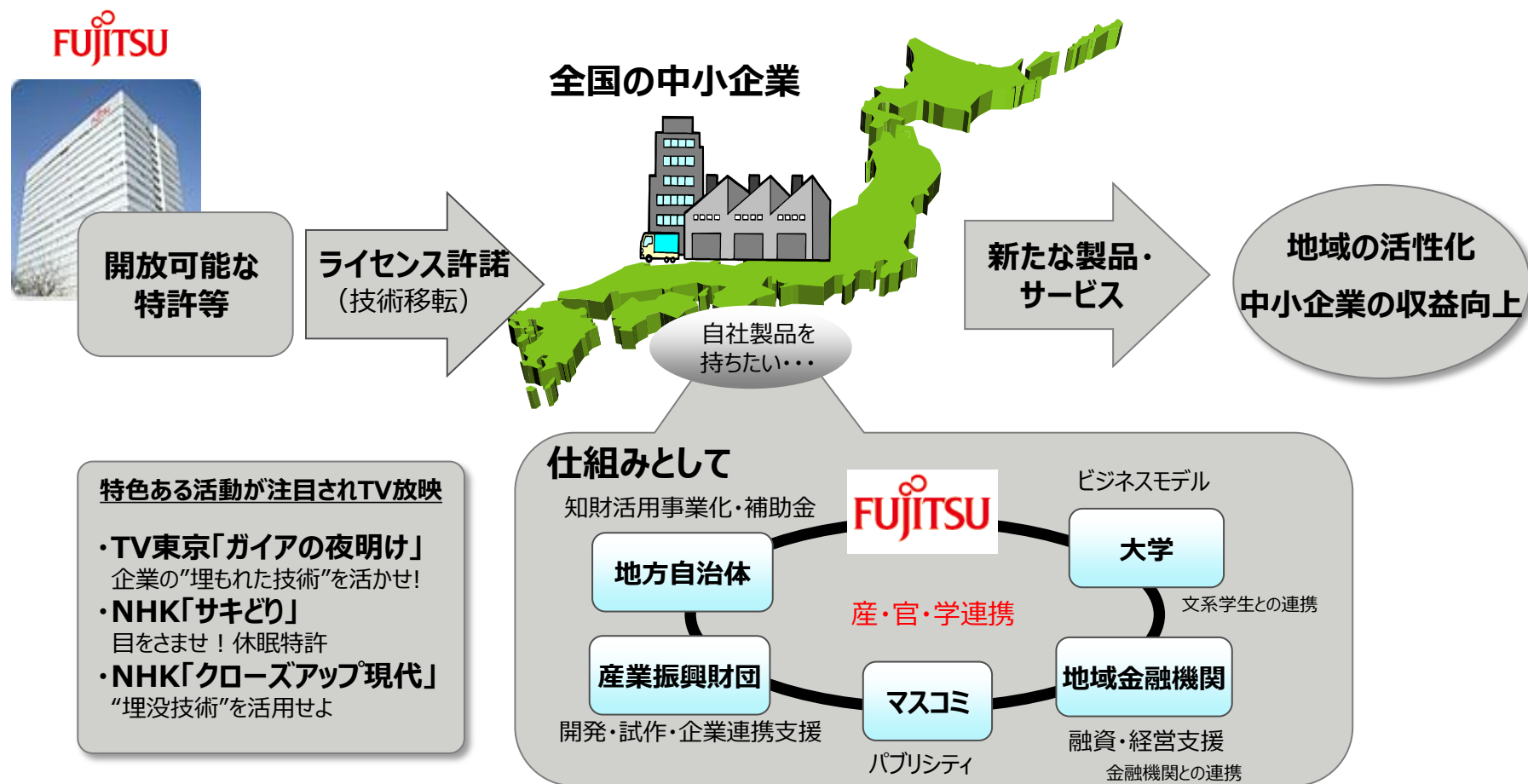


情報アクセス
管理

【事例3】 特許の開放（中小企業・地域貢献）

知的財産マッチング活動

- 開放可能な特許を中小企業様に提供し、ビジネス創出のきっかけ作りに貢献
- お客様（中小企業様や金融機関様等）や地域とのwin-win関係を構築

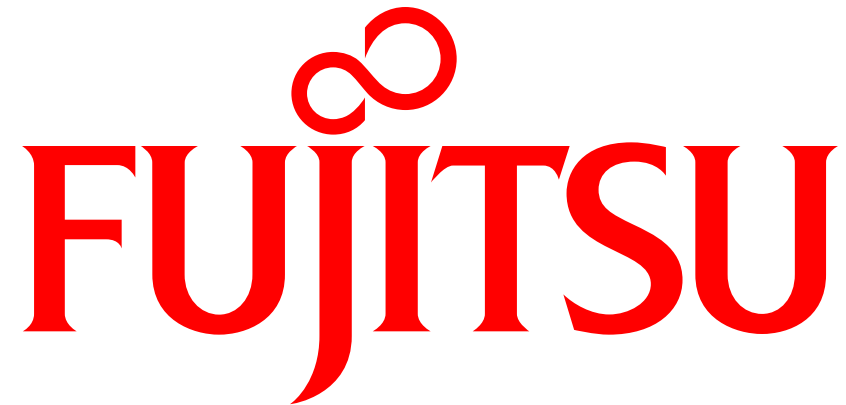


共創とオープンイノベーションを加速

イノベーション



革新的な製品、ビジネスモデル開発へ



shaping tomorrow with you